

秋冬ニンジンから春ニンジンへ  
あまくて、みずみずしく、柔らかい！

春ニンジンは特に皮も薄く甘みがあり、サラダ(生食)やジュースでも美味しいニンジンです。新鮮なつぼと皮ごと味わってください。

人参部会長 上田 晃太

## 菊池地域は 県内トップのニンジン生産地



AI選別機



12等階級に選別



箱詰めされて予冷庫へ



ロボットパレタイザ



リニューアルした出荷箱



昨年11月に稼働開始したニンジン選果場



選果場担当 島田職員

上田部会長

春ニンジンは、1月～2月中旬に播種を行い、4月～6月にかけて出荷します。この時期、管内南部地区の圃場では多くのトンネルビニールが張られており、その多くでニンジンの栽培が行われています。主な品種は「愛紅」「紅つらつら」「翔彩」「TCH711」。

秋冬ニンジンは、8月～9月中旬に播種を行い、11月～3月にかけて出荷します。主な品種は「愛紅」「ゆづべこ」「TCH711」「冬ちあき」。

菊池地域は県内トップのニンジン生産地です。

管内でも菊陽町・大津町は、農林水産大臣が指定する「国指定産地」にも登録されています。「黒ボク土」という火山灰を多く含んだ土壌が通気性・排水性・保水性を有していることや、阿蘇山からの吹きおろしの風が適した気温・湿度となり栽培に適しているといわれています。

近年は播種期の高温や局地的な豪雨、生育期の乾燥など自然環境に苦慮しながら栽培をしています。部会では産地に適した試験品種の導入や土壌保水材を使用した試験栽培にも取り組んでいます。

昨年11月に稼働を開始した「人参選果施設」では、収穫されたばかりの泥付きニンジンが持ち込まれ水槽で泥を落とし、洗浄後、選別を行います。3LからSまで、大きさや形、品質で12等階級に振り分け、箱詰めして市場の要望や用途に合わせて出荷します。選果量は以前の選果機より倍となる最大日量60トン選果できる設計です。選別はAI選別機と作業員によって行われ、箱詰めされた製品はロボットパレタイザも使用してパレットに振り分けれます。

令和7年産：部会員60戸

栽培面積：「春」65ha

「秋冬」131.5ha

出荷期間：「春」4月～6月

「秋冬」11月～3月

出荷先：「個選」姫路、岡山、熊本

「共選」京都、広島、岡山、福岡、熊本